

幼児教育調査研究委員会 報告

# 家庭教育支援のための実践事例集

—「幼稚園・保育所における家庭教育支援の在り方」(冊子)の活用に向けて—



平成 24 年 3 月  
栃木県総合教育センター

## はじめに

近年の社会変化、核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、子育ての際に孤立感や不安感を感じる保護者が多くなっており、急速な少子・高齢化に向け、社会全体で子どもを育てることの必要性が一層唱えられてきました。また、平成24年2月には、基本制度ワーキングチームによる「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ」が公表され、幼保一体化の基本的な考え方が示されました。

こうした中で、県内の幼稚園・保育所には、地域の中核として親子教室や子育て相談など様々な家庭教育支援に御尽力いただいております。さらに、幼児教育の専門性を生かしながら、家庭教育支援を行い、保護者とともに子どもを育てていくという役割を担うことが、ますます求められているところです。

幼児教育調査研究委員会では、昨年度、子どもの育ちを具体的に伝える家庭教育支援リーフレット「家庭教育のすすめ」と、子どもの育ちを捉え保護者に伝える保育者の資質の向上のための「活用の手引」を作成してまいりました。本年度はこれらの資料を活用した家庭教育支援の実践を事例集としてまとめました。

本冊子を参考として、家庭教育支援や保育者の資質向上のための研修等が各幼稚園・保育所においてさらに充実されることを願っております。

結びに、本調査研究を進めるにあたり御協力いただいた委員の方々に厚く御礼申し上げます。

平成24年3月

栃木県総合教育センター所長 瓦井 千尋

# 目 次

事例の見方	..... 1
実践事例	..... 2
事例 1 「すすんでやろうとする子」を育てるための保護者のかかわりを考えよう 【学期末の学級懇談会】 .. 3	
事例 2 子どもの育ちについて一人一人の保護者と話してみよう！ 【個人懇談】 .. 5	
事例 3 フリートークで交流しよう 【母親サークル】 .. 7	
事例 4 保護者からの悩み相談でも活用しよう 【家庭訪問】 .. 9	
事例 5 子どもの気持ちになってみよう 【未就園児親子登園】 ..11	
事例 6 保育者の豊かな言葉かけについて考えよう 【園内・所内研修】 ..13	
事例 7 保護者にわかりやすく説明しよう 【園内・所内研修】 ..15	
事例 8 幼児理解を深めよう 【園内・所内研修】 ..17	
事例 9 教育課程をもとに保育を振り返ろう 【園内・所内研修】 ..19	
事例10 日頃の保育の悩みについて一緒に考えよう 【新任職員研修】 ..21	
事例11 リーフレットの活用方法を考えてみよう 【月ごとの園内・所内研修】 ..23	
事例12 個人懇談で適切なアドバイスをしよう 【園内・所内研修】 ..25	
参 考	.....27

(冊子「幼稚園・保育所における家庭教育支援の在り方」・リーフレット「家庭教育のすすめ」)

家庭教育支援の資料を  
うまく活用するピヨ！



実践例を参考に、各園で  
工夫してね。

# 事例の見方

左ページには、実践の概要をまとめました。時間や展開方法など、すぐに活用できます。



右ページには、実践の様子や効果などをまとめました。活動を具体的にイメージできます。

活動名を示しています。

この活動でのねらいを明確にしています。

実施時期や対象などの具体的な活用場面を示しています。

実践の様子を写真、参加者の意見、配付資料等で紹介しています。

**事例 1 「すすんでやろうとする子」を育てるための保護者のかかわりを考えよう！**  
【学期末の学級懇話会】

実施時期	7月	場所	保育室
対象及び人数	年中組保護者20名	所要時間	35分
主な実施者	クラス担任		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
活用した場所	その他( )		

**ねらい**

- 保護者同士が子どもについて話し合うことで、子育てについて具体的に考える機会にする。

**活動のねらい**

「すすんでやろうとする子」を育てるための保護者のかかわりを考えよう！

時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント
3	担任からの説明 ○本日の日程について話す。 ○リーフレットについて説明する。 ○話し合いのポイントについて示す。	・リーフレットの中から、話し合いのポイント「すすんでやろうとする子」の一つについて提案する。
10	2 グループ協議 ○3~4人のグループに分かれ、リーフレットの「すすんでやろうとする子」を読む。	・グループは少人数にし、各自の思いが素直に話せるようにする。 ・リーフレットの内容だけでなく具体例を出すことによって、話しやすいようにする。
15	○自分の子どもの様子を話し合う。 ・進んでやろうとしない場面や困ってまわっているときか。 ・進んでできるようになったときの大のかわり方はどのようなものか。	・保護者が話し合っている様子を見守りながら、どんなことが話題になっているのかメモを取り整理する。
6	3 保護者からのアドバイス ○子どもが進んでやろうとしない場面をまとめる。 ○保護者の成功例とともに保護者のかかわり方で効果的であった方法(やる気と満足感を味わえる指示や言葉かけのタイミング)を紹介する。 ○園と家庭が連携したり、保護者同士が交流しあうことの大切さを知らせる。	・ほとんどの保護者が同じような悩みをもちていることを知らせ、安心できる場にする。 ・話題にあがっていた悩みに対し具体的なアドバイスをする。
14	4 終わりのあいさつ	・一人で悩まず、いつでもみんなとでも相談できることを伝える。

**参加者の様子や配付資料等**

「そういえば、毎日、魚がせていたけど、魚もかわらなかつた日にいつの間にか自分で身支度していたことがありました。」

「子どもって、意外と自分なりに考えているんですね。」

「さすが！○○ちゃんのお母さんは、子どものペースから、参ります。」

「よかった。うちの子だけじゃないんですね。少し安心しました。」

【グループ協議の話し合う保護者】

**実施した効果やワンポイントアドバイス**

- はじめにリーフレットの趣旨や内容について説明し、全員で共通の話題を読んだことで、子どもの行動に話題を絞ることができた。視点が明確になったので、短い時間でも話し合いが充実した。
- 悩みを話す機会を作り、どう対処すべきかを一緒に考えていくことで、保護者の不安が解消できるのだと感じた。
- 担任や講師等からの一方的な話も必要だが、今回のようにグループ協議を取り入れたことで、その後の保護者同士の交流のきっかけにもなった。

**園の人と考えや悩みを共有できるように保護者同士をつなぐ場の設定をすることが大切ですね。**

具体的な活動の流れを時間配分や役割分担等が分かるように示しています。

実施にあたっての配慮点などを具体的に示しています。

実践した効果や課題が具体的に書いてあります。

ピヨからの応援メッセージ。求められる保育者の姿勢や心構えについて伝えています。

# 実践事例

幼稚園・保育所で実践した取組をまとめました。



# 事例 1 「すすんでやろうとする子」を育てるための保護者のかかわりを考えよう！

## 【学期末の学級懇談会】

実施時期	7月	場所	保育室
対象及び人数	年中組保護者20名	所要時間	35分
主な実施者	クラス担任		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他（ ）		

活動名	「すすんでやろうとする子」を育てるための保護者のかかわりを考えよう！	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士が子どもについて話し合うことで、子育てについて具体的に考える機会にする。</li> </ul>	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
3	1 担任からの説明 ○本日の日程について話す。 ○リーフレットについて説明する。 ○話し合いのポイントについて示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットの中から、話し合いのポイント「すすんでやろうとする子」の一つにして提案する。</li> </ul>
10	2 グループ協議 ○3～4人のグループに分かれ、リーフレットの「すすんでやろうとする子」を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループは少人数にし、各自の思いが素直に話せるようにする。</li> <li>リーフレットの内容だけでなく具体例を出すことによって、話しやすいようにする。</li> </ul>
15	○自分の子どもの様子を話し合う。 ・進んでやろうとしない場面や困ってしまうのはどういうときか。 ・進んでできるようになったときの大人のかかわり方はどのようなものか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が話し合っている様子を見守りながら、どんなことが話題になっているのかメモを取り整理する。</li> </ul>
6	3 保育者からのアドバイス ○子どもが進んでやろうとしない場面をまとめる。 ○保護者の成功例とともに保育者のかかわり方で効果のあった方法（やる気と満足感を味わえる指示や言葉かけのタイミング）を紹介する。 ○園と家庭が連携したり、保護者同士が交流したりすることの大切さを知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの保護者が同じような悩みをもっていることを知らせ、安心できるようにする。</li> <li>話題にあがっていた悩みに対し具体的なアドバイスをする。</li> </ul>
1	4 終わりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人で悩まず、いつでもどんなことでも相談できることを伝える。</li> </ul>



## 参加者の様子や配付資料等

朝の身支度や登園準備など、なかなか自分でやろうとしないからイライラしてしまうんです。

そういえば、毎日、急がせていたけど、何も言わなかった日にいつの間にか自分で身支度していたことがありました。

子どもって、意外と自分なりに考えているんですね。

よかった。うちの子だけじゃないんですね。少し安心しました。

さすが！〇〇ちゃんのお母さんは、子育てのベテランだから、参考になります。



【グループ協議で話し合う保護者】



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- はじめにリーフレットの趣旨や内容について説明し、全員で共通の話題を読んだことで、子どもの行動に話題を絞ることができた。視点が明確になったので、短い時間でも話し合いが充実した。
- 悩みを話す機会を作り、どう対処すべきかを一緒に考えていくことで、保護者の不安が解消できるのだと感じた。
- 担任や講師等からの一方的な話も必要だが、今回のようにグループ協議を取り入れたことで、その後の保護者同士の交流のきっかけにもなった。

他の人と考えや悩みを共有できるような保護者同士をつなぐ場の設定をすることが大切です。



## 事例 2 子どもの育ちについて 一人一人の保護者と話してみよう！ 【個人懇談】

実施時期	7月	場所	相談室
対象及び人数	保護者1名	所要時間	30分
主な実施者	クラス担任		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他（ ）		

活動名	子どもの育ちについて 一人一人の保護者と話してみよう！	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が子どもの発達について知ること、子育ての課題や悩みについて解決の一助とする。</li> </ul>	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
3	1 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しやすいような雰囲気をつくる。(飲み物を用意する、穏やかな表情でよく聞く等)</li> <li>少しずつ相談内容を聞きだしていく。</li> <li>リーフレットの「このような時期です」の対象年齢の部分と一緒に読む。</li> <li>子どもの発達や状況についての話合いを通して、保護者の気付きを共有することで保護者が安心して、自分で解決していけるようにする。</li> <li>トラブルやけんかも含め様々なかかわりを経験することが人とかかわる力を育てることを伝える。</li> <li>具体例をもとに対応の仕方について話し合う。</li> <li>解決策が考えられたら、実践できるように励ましたり勇気付けしたりする。</li> </ul>
7	2 相談内容の確認 ○園での子どもの様子を伝える。 ○家庭での様子を聞く。 ・友達と仲良く遊んでいるか。 ・けんかやトラブルのときの親の対応はどうしたらよいか	
15	3 解決に向けての話合い ○リーフレットを紹介する。 ○リーフレットを使いながら、解決策を考える。 ○園でがんばっていることや、ほめてあげたいことを伝える。	
5	4 雑談	



## 参加者の様子や配付資料等

親としてのかかわりや、役割が大切なのですね。

最近、どうしようと思っていたのですが……。今、みんな、このような時期なのですね。安心しました。



【個人懇談の様子】

園では、Aちゃんは人気者ですよ。いつも、友達が集まってきます。

友達とのけんかは心配ですよ。

友達とのトラブルに関して、このリーフレットがあります。見てみましょう。



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- イラストでテーマの特徴が示されているので、文字を読むことに抵抗のある保護者も一目で場面を理解できた。話だけよりも、わかりやすいようだった。
- 保育者自身も子どもの発達を頭に入れながら話げできたため、より保護者と課題を共有できてよかった。
- トラブルやけんかなどについて、はじめに実際の子どもの姿ではなく、リーフレットの例を使うことで、保護者の感情を損ねずに話し合うことができた。

雰囲気づくり、話し方、資料の工夫等、保護者に応じて伝え方を工夫しましょう。



## 事例 3 フリートークで交流しよう！ 【母親サークル】

実施時期	7月	場所	絵本室
対象及び人数	保護者15名	所要時間	35分
主な実施者	教頭		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他（ ）		

活動名	フリートークで交流しよう！	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットをもとにした保護者同士の意見交換を通して、保護者の子育てについての意識や園への要望などを把握する。</li> </ul>	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
10	1 教頭からの説明 ○アイスブレイク ○リーフレットの趣旨について ○意見交換の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的集まっている仲間であるが、その日の状況に応じて適切なアイスブレイクをする。</li> </ul>
20	2 リーフレットをもとにフリートーク ○「やろうとする意欲」や「人とかわる力」を育てる保護者の役割について考える。 ○リーフレットを再度読み、保護者が抱えている思い・悩みや不安などを話し合う。 ○リーフレットの事例に沿って、日頃心がけていることを意見交換する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリートークを取り入れることで、保護者の意見が活発にできる雰囲気を作る。</li> <li>年齢・場面・解決方法や働きかけたときの成果など具体的な例を組み入れながら進めていく。</li> </ul>
3	3 保護者の感想や意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見をまとめることで、保護者同士が問題を共有し、考え、視野を広げる場とする。</li> </ul>
2	4 教頭からのあいさつ ○今後、保護者との意見交換ができる機会や場を増やすことを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てを支援する園の方向性を伝え、保護者の安心感につなげる。</li> </ul>



## 参加者の様子や配付資料等

子どもの「よいところ」を知らせたり、頑張ったことをほめたりすることで、自信をもたせるよう心がけています。

正解のない育児の中で保護者のかかわり方が大切だと感じました。

子育てをしながら親も一緒に成長するのですね。

普段、一人で家にいると、子どものことしか見えなくて……。このような場があると、自分の気持ちをクールダウンできます。



行事等に親が積極的に参加することで、子どもには「パパもママも頑張ってるよ。」ということを伝えたいです。

【フリートークの様子】



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 同じぐらいの年齢の子どもをもつ保護者同士が集まることで、同じ思いや考えをもっていることに保護者自身が気付き、共感できる。保護者に仲間意識が生まれ、その後の交流につながった。
- フリートークを通して、幼稚園の行事等に親が参加することで、人とかわかることの楽しさに気付く保護者が多いことが分かった。子どもだけでなく、保護者の育ちの場ともなっているのだろう。
- 他の人の意見を聞くことで、自分の子どもはどうか？など自分の子育てを振り返る機会となった。
- 子育て中の保護者が意見交換する時間を確保することは難しいが、価値のある内容を企画することで、わずかな時間でも効果が上がることがわかった。家庭教育支援のために、今後もこのような機会を設けたい。

環境や経験によって育ちに差があるけれど、他の子と比べず、急がず、ゆっくり見守ってあげることの大切さを発信していきましょう。



## 事例 4 保護者からの悩み相談でも活用しよう！ 【家庭訪問】

実施時期	8月	場所	園児の自宅
対象及び人数	保護者1名	所要時間	20分
主な実施者	クラス担任		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他（ ）		

活動名	保護者からの悩み相談でも活用しよう！（家庭訪問において）	
ねらい	・リーフレットを家庭訪問に持参し、活用することで、保護者の悩みを解決する一助としたり、子どもの発達や子育てについての理解を促したりする。	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
20	<p>1 家庭訪問での母親からの相談（傾聴）</p> <p>イライラして怒ってしまう等、A児への接し方に不安がある。 夫は、そんなに怒ってばかりいても子どもはわからないのではないかと言う。 保育参観後の懇談会の後、A児へのかかわり方を、考えるようになったが、ますますわからなくなってしまった。</p> <p>2 母親との話合い（共感） ○イライラしてしまう場面とそのときの対応を整理する。</p> <p>3 担任からのアドバイス（提案） ○A児の気持ちを一緒に考える。 ○今後の具体的なかかわり方や方向性を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会をきっかけにリーフレットを読んでかかわり方を反省したという母親の気付きをほめる。</li> <li>母親の話を共感的に聞き、言いたいことを話せるようにする。</li> <li>最後まで話を聞いた上で一緒に考えることを伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>イライラしてしまう場面を整理し、共通する原因を明確にする。</li> <li>家族の協力が少ないことや介護、体調不良など母親の苦労を理解し、ねぎらいの言葉をかけるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>A児の良くなってきているところや、プラスの変容を具体的に伝えた。</li> <li>今後の方向性について、明るい展望がもてるような提案をする。</li> </ul>



## 参加者の様子や配付資料等

お母さん、一人でよく頑張っていますね。毎日大変でしょう。

先日の懇談会であのリーフレットを読み、子どもとのかかわり方についていろいろと考えました。

「どうしてできないの。」  
「早くしなさい。」と、ずっと、怒ってばかりだったんです。怒っているだけではだめなんですね。

Aちゃんも園で頑張っていますよ。この前は、転んだBちゃんの所へ行って「大丈夫？」と砂を払ってあげたんです。優しいところがあるんだな・・・とうれしくなりました。



何もかも一人でやっているの、疲れてしまっていて・・・。この子のがんばっているところを見てあげていなかったと反省しました。

【家庭訪問の様子】



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 普段は改めて考えることがないが、リーフレットの事例を読んで、保護者が自分の子どもとのかかわり方を反省するきっかけになった。
- 保育者がじっくりと母親の話を傾聴し、相談に応じることで、保護者自身が子どもの気持ちや思いをよく聞くことの大切さに気付いた。
- 保護者が子どもの話をじっくり聞くことで、子どもが園での出来事を話すようになる等、変容がみられた。
- 保育者も保護者とじっくり会話することの大切さを知った。わずかな時間でも保護者と会話をするよう心がけるようになった。

**保護者との面談等で必要となる情報を常に収集し、ケースに応じてすぐに提供できるようにしておくといいですね。**



# 事例 5 子どもの気持ちになってみよう!

## 【未就園児親子登園】

実施時期	8月	場所	多目的室
対象及び人数	未就園児保護者10名	所要時間	30分
主な実施者	教頭		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他 ( )		

活動名	子どもの気持ちになってみよう!	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>園開放の一環である未就園児登園の際に、保護者同士で子育てについて話し合い、交流を深める。</li> <li>リーフレットをもとに、子どもの気持ちになって考えることで、保護者が望ましい子どもとのかかわり方を知る機会とする。</li> </ul>	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
	1 未就園児の親子登園 (子どもは、保育室で遊ばせる。)  3 2 はじめのあいさつ  25 3 未就園児の保護者の話し合い ○2・3歳児に多い「友達のおもちゃを取り上げてしまった我が子」の例として、事例集の事例3のエピソードを紹介する。 ○自分だったらどうするかを考え意見を出し合う。 ○そのときの子どもになったつもりで、子どもの思いを文字にして書く。 ○子どもの気持ちを考えることで自分の子どもとのかかわりを振り返る。  2 4 終わりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いは、解決策を出すのではなく、それぞれの「思い」を自由に出し合う場であるということ伝え、リラックスできる雰囲気をつくる。</li> <li>はじめにそれぞれの対応について一枚の紙に順に書き込み、共通認識する。</li> <li>子どもの気持ちを記入する作業用紙を使用することで、素直な考えが出てくるようにする。</li> <li>思いつくまま、自由に、できるだけ多くの思いを文字にできるように、各自にプリントを用意する。</li> </ul>



## 参加者の様子や配付資料等

目の前の状況や結果だけでなく、目には見えにくい子どもの心の中にある「思い」にも気を配ることが大切なんです。

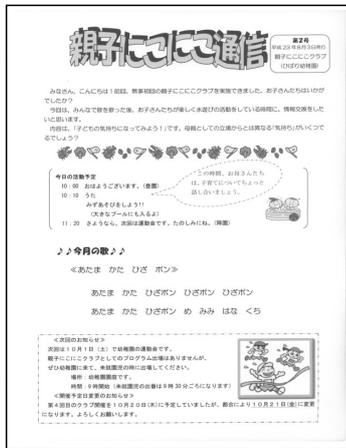


【模造紙に思いを書き込む未就園児の保護者】

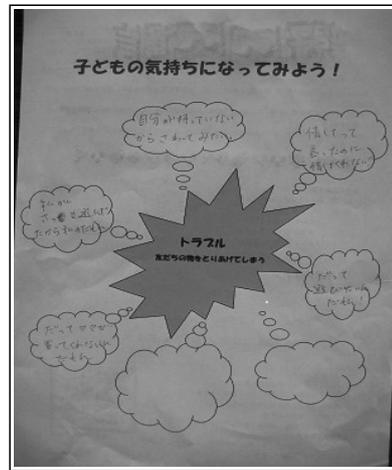
問題が起きたときに、子どもの話をよく聞いてあげなくてはと思うのですが、子どもは、自分に都合よく話をもっていくんですよね。これって、どうなのでしょう？

待っていようと思っても、つい、姉妹と比べて、叱ってしまうんです。

このリーフレットは、保育参観時にいただいたけど、いいこと書いてありますよね。つい、「何回言ったらわかるの！」って言っちゃいます。これをいただいてからは、「あっ、また言っちゃった。」って思うようになりました。



【園だより】



【保護者が考えた「子どもの気持ち」】



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- ほとんどの保護者が、全ての吹き出しを埋め尽くすほど、子どもの気持ちを考え、幼い子どもでもたくさんの思いをもっていることに気付いた。
- この会は、正解を出すというのではなく、思いを出し合う会なので、保護者も構えることなく井戸端会議のように和やかに話が弾んだ。
- 忙しい毎日の中で、試行錯誤しながら一生懸命、子育てをしている保護者にとって、育児書やインターネットから個々に情報を得るだけでなく、今回のように共通の資料を用いて、気軽に話し合えるリーフレットは、最高の育児書となった。

子どもとのかかわりは、即効性を選んでしまいがちです。ときには、保護者が子どもの立場になって考えるような働きかけをしてみましょう。



## 事例 6 保育者の豊かな言葉かけについて 【園内・所内研修】

### 考えよう！

実施時期	7月	場所	保育室
対象及び人数	教職員8名	所要時間	70分
主な実施者	主任保育士		
活用した資料	リーフレット その他（	活用の手引き	事例集

活動名	保育者の豊かな言葉かけについて考えよう！	
ねらい	・事例の中の保育者の言葉かけについて考えることで、豊かな言葉かけの方法やタイミング等を理解する。	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
5	1 事例の選択・配付 ○乳児用と幼児用の事例を一例ずつ選択し、配付する。	・所内研修のテーマから、日々の保育の課題に合った事例を選び出す。
20	2 事例検討 ○事例を読み、子どもをどう理解するか、自分だったらどのような言葉かけをするかを発表する。	・個々の意見を否定せず、様々な意見が言い合えるような肯定的で温かい雰囲気をつくる。
30	3 意見交換 ○それぞれが自分の保育場面を出し合い、そこでの言葉かけについて話し合う。 ○保護者に伝えたい内容や伝える方法についても話し合う。	・意見に共感しながらうなずくなどして、経験年数が少ない保育者も意見を言えるようにする。 ・明日からの保育に生かせるように、場面に応じた具体的な言葉かけをアドバイスし合う。
10	4 話し合ったことの確認 ○保育者の豊かな言葉かけについて明らかになったことの共通理解を図る。	・保育者それぞれが、課題に感じていることを捉えてアドバイスをする。
5	5 主任保育士のまとめ	



## 参加者の様子や配付資料等

子どもの言葉には必ず意味があるから、子どもがどうしてその言葉を発したのかその状況や経緯を考えることが大切ですね。



その場に応じて適切な言葉かけをするのは難しいけれど、話し合いをすることで、いろいろなアイデアがもらえます。

言葉かけをしすぎることも、子どもの行動を制限してしまうのではないのでしょうか。

子どもが発する「ねー。」の言葉には、色々な意味が込められているんですね。

【豊かな言葉かけについて自分の意見をまとめる保育者】

子どもをよく見ていないと豊かな言葉かけはできないと思います。まずは子どもの行動をよく観察して理解したいです。

保育者が子どもの言葉やつぶやき、表情などを、子どもの立場に立って受け止めることが大切だと思います。



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 共通の事例を通して、子どもの見方や具体的な援助の方法などを話し合うことで、他の保育者の意見や考え方を知り、自分の考えと比較しながら取り入れることができ、保育者一人一人の保育技術の向上を図ることができた。
- 話し合いの中で、それぞれの保育者が自分の課題に気づき、互いにアドバイスし合えるので、明日からの保育に生かすことができる。

テーマを決めて研修することで保育を考える視点がしぼられ話し合いが深まりますね。



## 事例 7 保護者にわかりやすく説明しよう！ 【園内・所内研修】

実施時期	10月	場所	保育室
対象及び人数	教職員8名	所要時間	事前60分(30分×2回) 研修当日 45分
主な実施者	主任保育士		
活用した資料	リーフレット その他( )	活用の手引き	事例集

活動名	保護者にわかりやすく説明しよう！	
ねらい	・事例を繰り返し読んで自分の考えを文章でまとめたり、他の保育者の意見を聞いたりしながら、保護者にわかりやすく伝えることができるようにする。	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
30	【事前1】(二週間前) 個々での事例読取り① ○各自、時間のあるときに読んで気付いたことや感じたことを付箋紙に書いて主任保育士に提出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例3と事例5をあらかじめ配付しておく。</li> <li>・誰にも相談せず自分が感じたこと、気付いたことを素直に書くように伝える。</li> <li>・じっくり考える時間をとる。</li> </ul>
30	【事前2】(一週間前) 個々での事例読取り② ○時間をおいて、再度、同じ事例を読み、読みとったことを付箋紙に書いて提出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出した内容について訂正や指導はしない。</li> <li>・2回目と同じ意見でも、異なる意見でも再度書いて提出する。前回ほど時間をあけずに一週間で提出する。</li> </ul>
30	1 グループでの話し合い ○4人ずつに分かれて事例について話し合いをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に各自が考えをまとめておくことで、相手にわかりやすく伝えることができる。</li> <li>・事例を繰り返し読むことで、様々な読み取り方ができる。</li> </ul>
10	2 話し合ったことの確認 ○それぞれのグループで話し合ったことを確認する。	
5	3 主任保育士のまとめ	



## 参加者の様子や配付資料等

何度も事例を読んでいるうちに、自分の考えがまとまってきました。



意見をまとめたことで、普段、何気なくしていた援助の意味がわかりました。

〇〇先生のまとめ方や伝え方は、視点がはっきりしていてわかりやすかったです。参考にしたいです。

いろいろな先生の話聞いたので、伝え方やまとめ方のポイントがわかってきたような気がします。

### 【事例をもとに自分の保育を振り返る保育者】

じいちゃん<sup>①</sup>が自働車で遊んでいる姿を近くで見つめるながら、うらやまかったのではないかなと思つた。そのタイミングでタイヤが転がってしまつたので、ついでに自働車としてしまつたかなと思つた。  
まだ意見では、言葉は出るものの、上手に伝えられない為、保育者が間に入ることで解決し、二人一緒に自働車で遊べて良かったなと思つた。

二週間前

じいちゃん<sup>②</sup>が自働車をずり回してうらやましく思つていたので、タイヤが自分の前へ転がって来たのでつい取つてしまったのでは?と思つた。いけない事では分かつていても、中々なおにやめず強がってしまったが、保育者が間に入つたことでキッカケがて、遊ぶことができて良かったと思つた。

一週間前

### 【実際に記入した付箋紙】

時間をおくことで、事例の読取りも深まります。



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 同じ事例を繰り返し読むことで、一度では気付かなかったことが理解できたり、多様な見方や考え方ができたりした。
- 付箋紙の使用は、自分の気持ちを素直に書くことができてよい。
- 自分の意見を整理してから話し合ったので、短時間で充実した内容になった。
- 事例に対する自分の意見を文章で表現することで、客観的に自分の保育を見直すことができた。
- 他の保育者の意見を聞きながら、保護者に伝える内容や方法について考えることができた。

事前に資料を配付したり付箋を使ったり、多様な手法で研修してみましょう。



## 事例 8 幼児理解を深めよう！

〔園内・所内研修〕

実施時期	10月	場所	保育室
対象及び人数	教職員13名	所要時間	50分
主な実施者	主任保育士		
活用した資料	リーフレット その他（	活用の手引き	事例集

活動名	幼児理解を深めよう！	
ねらい	・事例の中の子どもの見方を話し合い、実際の保育の場面と照らし合わせながら、幼児理解を深める。	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
5	1 主任保育士からの説明 ○資料を配付する。 ○作業の進め方を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの事例（事例8・9・11）を1枚の用紙に印刷して配付する。</li> <li>・グループは経験年数の様々な人が一緒になるように組む。</li> <li>・全員が意見を言えるように3～4人のグループにする。</li> <li>・自分の考えを整理するために作業用紙を配付する。</li> <li>・子どもの見方の違いや保育観の違いを知ることで、各自の保育を振り返ることができるようにする。</li> <li>・事例集より保育者の読取、保護者へのワンポイントアドバイス例を用いてまとめる。</li> <li>・各自が自分なりの課題をもって研修にのぞめるように、次回の研修の内容を知らせておく。</li> </ul>
25	2 グループでの事例検討 ○グループに分かれて事例を読み取る。 ○話し合ったことを記録する。	
10	3 発表 ○グループごとに読み取ったことを発表する。	
10	4 まとめ ○保護者とのかかわり方やアドバイスの仕方を学ぶ。 ○次回、各自が事例を書いて提出することを伝える。	
	【事後】 各自の保育からエピソードを見つける。	・子どもの降園後に、一日を振り返って、保育の中で見つけたエピソードを記録できるようにする。



## 参加者の様子や配付資料等

### 〔事例8の読取〕

子どもは以前の経験と結び付けて物事を考えることがわかりました。

先生への憧れが支えになっていると思います。

### 〔事例9の読取〕

ケンカしている間は自分の思いが強くて相手のことが考えられなかったのだと思います。

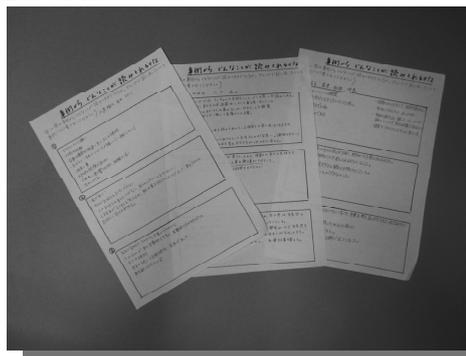
思いを言葉にして言うことができなかったのかもしれない。

### 〔事例11の読取〕

自分の言葉で伝えてみたが、相手に伝わっていないことに気づき、言葉を考え、言い方を変えようになったのは大きな学びだと思います。

先生の様子を見て、どうすれば聞いてもらえるかを考えたのだと思います。

### 【事例検討の話合いをする保育士】



【事例を読み取って作成した資料】

## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 事例をもとに話し合うことで、互いの子どもの見方や保育観の違いに気づき、自分の保育の参考になった。
- 少人数のグループにしたので、経験年数の多少にかかわらず自由に意見を出し合うことができた。
- 経験年数や担当年齢によって気になる子どもの姿や援助が異なるので、互いに刺激になって効果があった。
- 保護者とのかわり方、アドバイスを共通理解する絶好の機会である。

教職員同士が、経験年数の違いや担当年齢の違いを生かして、お互いに学び合おうとする姿勢が大切ですね。



## 事例 9 教育課程をもとに保育を振り返ろう！

【園内・所内研修】

実施時期	8月	場所	保育室
対象及び人数	教職員10名	所要時間	事前40分 研修当日60分
主な実施者	主任保育士		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他（自園の教育課程・幼稚園教育要領）		

活動名	教育課程をもとに保育を振り返ろう！	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレット等をもとに事例を書くことで、年齢に応じた発達を理解する。</li> <li>話し合いによって子どもの行動や活動について深く考えることで自己の保育の課題を見出す。</li> </ul>	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
40	<p>【事前】（一ヶ月前）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リーフレット・活用の手引きをよく読む。</li> <li>○事例の提出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係を築く。</li> <li>・言葉で伝える。</li> <li>・意欲をもってやろうとする。</li> <li>・ねばり強く取り組む。</li> <li>・ルールや約束をまもる。</li> </ul> </li> </ul> <p>の5つの視点から自分の保育を振り返り、事例を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一ヶ月前に事例提出・話し合いをする期日を設定する。</li> <li>事例の書き方 （事例集の様式を参考に、エピソード・保育者の読み取り・保護者へのワンポイントアドバイスの3つを書く。）</li> <li>・事例の書き方に困っている保育者にはアドバイスをする。</li> </ul>
10	<p>1 事例の読合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集まった事例を全員に配る。</li> <li>○事例を各自発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まった事例を主任保育士はあらかじめ熟読し、話し合いのポイントを考えておく。</li> </ul>
45	<p>2 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事例をもとに全員で話し合う。</li> <li>○主任保育士や他の保育者から意見を出してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢ごとの特徴を園の教育課程と照らし合わせ話し合う。</li> <li>・保育者の対応が発達段階を踏まえて考えられているかを中心に協議する。</li> </ul>
5	<p>3 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主任保育士によるまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の保育に生かされるようにアドバイスをする。</li> </ul>



## 参加者の様子や配付資料等

日常の子どもとのかかわりの中で、自分がどう対応しているのかを振り返るよい機会になりました。また、協議を通して保育の視野が広がり、新たな発見につながりました。

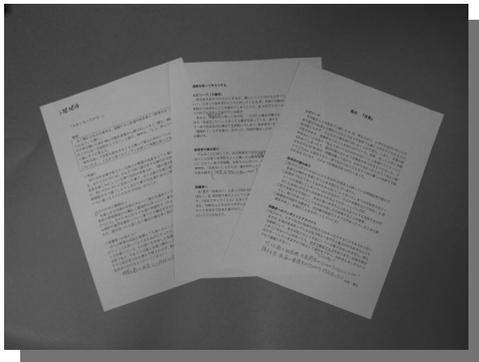


【研修の様子】

事例を文章にしてみると、相手に伝わるように書くにはどのように表現すればよいか難しかったです。

自分がその子に対してどのような受け止め方をしているかをじっくり考える時間をもつことができました。

事例でうまく書けないところは、自分が苦手としている課題だったのですね。



【集められた事例】

子どもの成長段階を伝えながら「園では〇〇していきます。」と先の見通しを保護者に伝えていくことが大切だと思いました。

事例について、他の先生方のいろいろな意見をいただき、自分で気付かなかった部分、対応で不足していた部分が明らかになり、今後に役立てることができた研修でした。



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 自分たちで書いた事例について話し合うことにより、一人一人の課題が明らかになり、その部分をどう補っていくかなどの糸口を見つけることができた。事例を書いたことは、保育者の意識を高め、今後の保育に役立て視野を広げるよい機会になった。
- 事例を書くことにより、子どもの姿や発達の様子が具体的に見られるようになった。
- 教育課程をもとに話し合うことで、園全体の保育を共通確認することができた。
- 経験年数の少ない保育者にとっては、様々なアドバイスをもらい、今後の保育に役立てている様子が見られる。
- 子どもたち一人一人の育ちのプロセスを見直すことにより、保育者自身の保育実践の見直しの機会になる保育の振り返りの大切さを再確認した。豊かな保育内容につなげていく1つの材料となった。

事例を書きましょう！  
自分の保育の課題が見つかりますね。



## 事例 10 日頃の保育の悩みについて一緒に考えよう！ 【新任職員研修】

実施時期	毎月1回	場 所	保育室
対象及び人数	一年目の教職員 3名	所要時間	60分
主な実施者	主任保育士		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他（保育課程）		

活動名	日頃の保育の悩みについて一緒に考えよう！	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットを通して子どもの発達を理解し、保育理念、方針に基づいた適切な保育が行えるように学び合う。</li> </ul>	
時間(分)	活 動 内 容	配慮点・ポイント 等
5	1 主任保育士からの説明 ○日程について ○話合いのポイントについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験年数の少ない保育者が緊張しないで話ができるように、和やかな雰囲気づくりをする。</li> </ul>
10	2 課題の確認 ○日々、子どもと接する中で、感じている悩みや困っていることを話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な話題から始めることで親近感がもてるようにする。</li> <li>自主的に発言しようとする姿勢を大切にする。</li> </ul>
10	3 子どもの発達についての共通理解 ○リーフレットを読みながら子どもの発達を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任保育士は保育者の思いに共感しながら進める。</li> <li>事例集を活用し、子どもの言動から何が読み取れるかについて話す。</li> </ul>
30	4 協議 ○リーフレットなどを参考に、課題の解決策を共に考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育課程を確認しながら、具体的に考える。</li> </ul>
5	5 話し合った内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践に生かそうと思えるように、励ましたり、勇気付けたりする。</li> <li>次回も、今回の内容を再度確認しながら進めていくことを伝える。</li> </ul>



## 参加者の様子や配付資料等

子どもの様子を的確に捉えて記録することが難しいです。

子どもの気持ちを考えて活動に誘うのですが、予想通りに進まないです。

保育を行う中での悩みを出してみましよう。

子どもに分かりやすく伝えるにはどうしたらよいのでしょうか。

リーフレットや事例を読みながら、自分の課題と照らし合わせて話し合いましよう。

【研修中の様子】

話し合ったことを生かして、子どもたちとかわるようになります。



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 事例の様式のように「エピソード」「保育者の読取」「保護者へのワンポイントアドバイス」と分けて考えることで、子どもの言葉や行動から気持ちの読取を意識して行えるようになった。
- 「保護者へのワンポイントアドバイス」は保護者対応を考える際に大変参考になった。
- 子どもを見る視点が明確になり、今までよりも記録しやすくなった。
- 自分の保育を反省するときに、振り返る観点が明らかになり、環境構成や援助等を翌日の保育に生かせるようになった。
- 毎月1回、研修を継続することで、新任職員の質の向上を図ることができた。



毎月1回、午睡時間を利用した60分の研修も、回を重ねると効果が増しますね。

# 事例11 リーフレットの活用方法を考えてみよう！

## 【月ごとの園内・所内研修】

実施時期	4月	場所	保育室
対象及び人数	教職員15名	所要時間	30分
主な実施者	主任保育士		
活用した資料	リーフレット	活用の手引き	事例集
	その他（ ）		

活動名	リーフレットの活用方法を考えてみよう！	
ねらい	・リーフレットの活用方法についてまとめ、多様な保護者支援の在り方について知り、実践への意欲を高める。	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
2	1 主任保育士からの説明 ○研修の進め方について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット活用の手引きの中で研修の目的に合ったページを選択して配付し、趣旨の徹底を図る。</li> <li>・各自が作業しやすいように作業用紙を準備し、自由に書き込めるようにする。</li> <li>・より効果的な使い方のアイデアを出し合う。</li> <li>・必要に応じて、すぐに使用できるように事務室に一覧表を掲示しておく。</li> </ul>
10	2 演習 ○各自がリーフレットをいつ、どこで、誰に、どのように使うか考え、作業用紙に書く。 ○期待される効果についても考える。	
15	3 発表 ○各自のアイデアをボードに貼りながら発表する。 ○他の人のアドバイスをもらって、自分の用紙に加除修正していく。	
3	4 まとめ ○今後の活用方法について共通理解を図る。 ○活用方法を一覧表にまとめる。	
	【事後】 ○家庭教育支援において、効果的な活用をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧表は、教職員同士で情報交換しながら、主任保育士が中心になって、常に見直していく。</li> </ul>



## 参加者の様子や配付資料等

毎月1回発行の園だよりとクラスだよりに載せることもできますね！

リーフレットを配付するだけでなく、その後、保護者に個別に声をかけることが大切だと思います。

アンケートを作成し、リーフレットと一緒に配付してみると、保護者の子育て観がわかるのではないのでしょうか。

育児相談があった際のアドバイスに使いたいです。

個人懇談会の際の参考資料にできるのではないのでしょうか。



リーフレットを使いながら子育てサロンを開催できたらいいですね。

### 【リーフレットの使い方を発表する保育者】

※保護者より、「家庭教育のすすめ」を読んだ感想をいただきました。（抜粋）

私をはじめ子どもを産み、「どんな子どもに育てたいか？」と自問自答したときに、生き抜く力をもつ子どもに育ててあげたいと考えました…。

保育園などに入園するとつい同じクラスの子と我が子を比較して、できないところに目を向けてしまいがちになります。「家庭教育のすすめ」の中で、「子どもの中に育っている力を信じて、急がずにじっくり見守り待つことです」という言葉が、自分にはとても力強く響きました…。



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 具体的に活用例を考えることで、家庭教育支援の機会や方法が多様にあることに気付いた。
- リーフレットを使うことで保護者の視野が広がり悩みを客観的に捉えることができ、冷静に子どもと向き合えるようになった。
- 活用の一覧表があることで、様々な保護者の悩みや相談に積極的に活用できた。

研修の成果をまとめて、いつでも使えるようにしておくのと便利ですね。



## 事例 12 個人懇談で適切なアドバイスをしよう！ 【園内・所内研修】

実施時期	7月	場所	幼児保育室
対象及び人数	3・4・5歳児 担任教職員5名	所要時間	60分
主な実施者	主任保育士		
活用した資料	リーフレット その他（	活用の手引き	事例集 ）

活動名	個人懇談で適切なアドバイスをしよう！	
ねらい	・リーフレットの活用やロールプレイ等の演習をとおして、各年齢の発達について理解を深め、適切な保護者対応ができるようにする。	
時間(分)	活動内容	配慮点・ポイント等
5	1 主任保育士の説明 ○個人懇談の目的について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての不安を和らげ、前向きに子どもとかかわれるように援助する場であることを伝える。</li> <li>・実際の子どもの様子を例にあげながら話すことで、より発達の特徴が分かるようにする。</li> <li>・リーフレットを使うタイミングや使う際のポイント等を確認する。</li> <li>・懇談の内容に応じて使用することを確認する。</li> <li>・適切なアドバイスができるよう、リーフレットや他の資料を一読しておくことを伝える。</li> </ul>
10	2 リーフレットの読合せ ○主任保育士がリーフレットを紹介する。 ○リーフレットをもとに、年齢による発達について話し合う。	
20	3 協議 ○担任するクラスの子どもの主な姿、特徴、発達等について話し合う。	
20	4 演習 ○保護者・保育者役に分かれて、模擬懇談（ロールプレイ）を体験する。	
5	5 まとめ ○リーフレットの活用方法について話す。	



## 参加者の様子や配付資料等

主任保育士の説明を聞くことで、懇談でリーフレットを活用する意図がよく理解できました。

ロールプレイをしたことで保護者の気持ちが分かりました。



みんなで話し合うことで、発達についてより深めることができました。

保護者から、子どもの言動等について相談されたときに、リーフレットを使うと説明しやすいですね。

自信をもって個人懇談を実施できそうです。



## 実施した効果やワンポイントアドバイス

- 研修の目的を「個人懇談における保護者対応」と明確にすることで、ロールプレイを取り入れるなど焦点を絞った有意義な研修になった。
- ロールプレイをすることにより、リーフレットを使用するタイミングなど、有効な活用方法を知ることができた。
- リーフレットをもとにした協議を通して各年齢の発達の理解が深まり、個人懇談の際に一人一人の保護者に応じたアドバイスをすることができた。



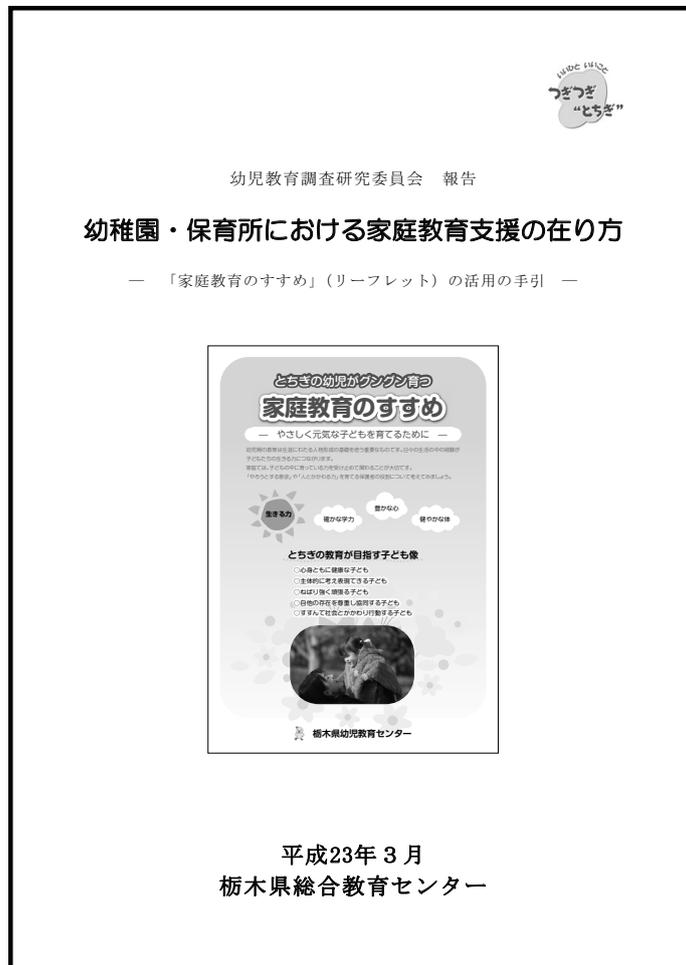
理解を深めるために研修のねらいを明確にしましょう。



# 参 考

冊子「幼稚園・保育所における家庭教育支援の在り方」

ここに、リーフレットの活用方法や事例集が載っているピヨ。



幼児教育センターのホームページを見よう！ピヨ



# とちぎの幼児がグングン育つ 家庭教育のすすめ

— やさしく元気な子どもを育てるために —

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。日々の生活の中の経験が子どもたちの生きる力につながります。  
家庭では、子どもの中に育っている力を受け止めて関わり、育てる保護者の役割について考えてみましょう。「やろ」とする意欲や「人とかわわる力」を育てる保護者の役割について考えてみましょう。



## とちぎの教育が目指す子ども像

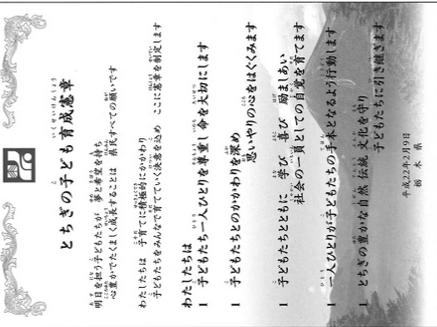
- 心身ともに健康な子ども
- 主体的に考え表現できる子ども
- ねばり強く頑張る子ども
- 自他の存在を尊重し協同する子ども
- すすんで社会とかがわり行動する子ども



栃木県幼児教育センター



栃木県は、とちぎの子どもを県民みんなで育てるために、「とちぎの子ども育成憲章」を制定しました。



**振り返ってみましょう**

○「ありがとう。」「ごめんね。」を気持ちよく言っている。  YES  NO

○子どものとき、親から言われてうれしかった言葉がある。  YES  NO

○子どものとき、親から言われてやる気をなくした言葉がある。  YES  NO

○家族みんなが過ごす時間を大切にしている。  YES  NO

○子どもの前では人の悪口を言わないようにしている。  YES  NO

○子どもの無理な要求に応じてしまいがちである。  YES  NO

**どう言っていますか？**

だから無理だって言ってきたよ! ↔ お手伝いだったのよね。

早くしなさい! ↔ がんばってやろうね。

何回言ったかわかるの! ↔ よ〜く聞いてね。

## 一言×セッション

### 子育て中の方へ

作新学院大学 人間文化学部  
教授 伊達 悦子

「先生が僕を叱るのは僕のことかたがたかたかと思ってるからだよ。」と言った子がいました。この言葉は、先生への安心感があったらよかったらと思います。就学前のお子さんの子育ては、波乱の連続かもしれません。分かっているかと思えば、うそも分からない、思いもかけない行動でいらら、ドキドキの連続だったりするかもしれません。でも、そのことを繰り返しながら人生の基礎工事をしていくのです。基礎工事を終えていないと人生の屋台骨が安定しませんので、「待つ」ことを心がけましょう。

子どもは、この両親の表情に一言一響きするものです。子どもが安心して頼りにできる「信言機」になれるといいなと思います。信言機は、安全や危険を知らせてくれるものです。叱ることは危険を知らせて身を守るために大切なのですが、そればかりです。「叱られる自分」を親に見せまいとして隠すものです。この両親が「自分を守ってくれる」ことを通じて、子どもは「自分を大切にされる」ことを覚えますし、この両親の期待に応えたいとも思っているのです。その日が来ることを楽しみに待ちましょう。

お子さんの笑顔や何気ないつらやきなど、子育ての疲れを癒してください。その癒された表情が、今度はお子さんに安心感をもたらすのです。

とちぎの幼児がグングン育つ 家庭教育のすすめ  
— やさしく元気な子どもを育てるために —

平成23年3月発行

発行者 栃木県幼児教育センター  
TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216  
URL: <http://www.tochigi-edu.jp/center/youji/>

〒320-0002 宇都宮市五谷町1070



**研究委員**

石川 恵子	つるた保育園主任保育士
岡田 由来子	作新学院幼稚園教諭
小泉 久美	那珂川町立ひばり幼稚園教頭
菅間 悦子	小山市城東保育所主任保育士
須田 令子	まこと幼稚園教頭
益子 清美	バンビーニとよさと主任保育士

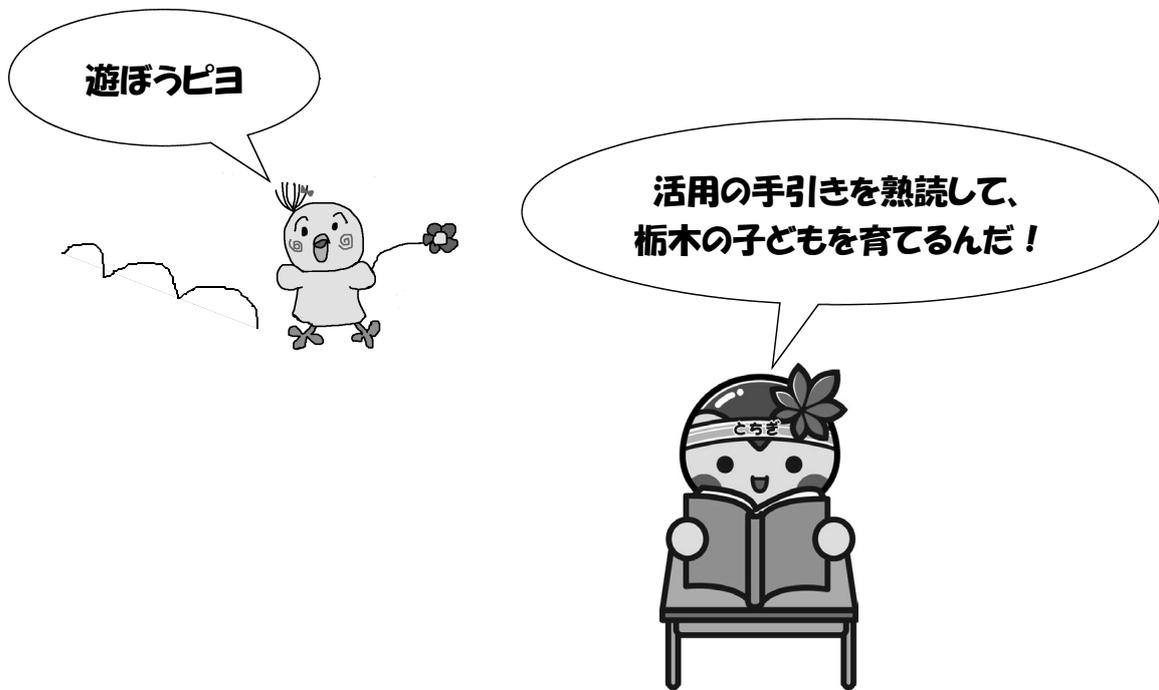
**事務局**

青山 佐知子	栃木県教育委員会事務局学校教育課指導主事
大塚 千枝子	栃木県総合教育センター幼児教育部部長
松本 良雄	栃木県総合教育センター幼児教育部部長補佐
鈴木 智恵	栃木県総合教育センター幼児教育部副主幹
高木 恵美	栃木県総合教育センター幼児教育部指導主事
前原 由紀	栃木県総合教育センター幼児教育部指導主事
青木 正子	栃木県総合教育センター幼児教育部顧問
鈴木 喜佐子	栃木県総合教育センター幼児教育部幼児教育専門員
瀧田 守	栃木県総合教育センター幼児教育部幼児教育専門員

(所属・職名は平成24年3月現在)

**参 考**

- 平成17年1月 「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について（答申）」（中央教育審議会）
- 平成20年4月 「保育所保育指針解説書」（厚生労働省）
- 平成20年10月 「幼稚園教育要領解説」（文部科学省）
- 平成22年3月 文部科学省委託事業「幼児教育の改善・充実調査研究」報告書  
「幼児教育の質を高めるための教員等の研修について」  
(ベネッセコーポレーション ベネッセ次世代育成研究所)

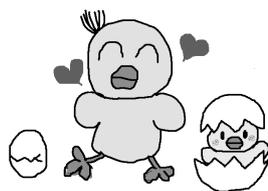


## 家庭教育支援のための実践事例集

—「幼稚園・保育所における家庭教育支援の在り方」(冊子)の活用に向けて—

発行 平成24年3月  
栃木県総合教育センター 幼児教育部  
(栃木県幼児教育センター)  
〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070  
TEL 028-665-7215 FAX028-665-7216  
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji>





本書、及びリーフレット「家庭教育のすすめ」、「リーフレット活用の手引き」、「家庭教育支援のための事例集」は 幼児教育センターHPからダウンロードできます。

栃木県幼児教育センター 調査研究

検索